

## 会 議 概 要

会議の名称	平成29年度第2次社会教育中期計画策定にかかる 第2回第3専門部会（芸術文化・博物館文化財・文化施設）会議
開催日時	平成29年9月14日（木） 午後6時30分～
開催場所	湧別町文化センターTOM 第3会議室
出席者名	部会委員～深谷部会長、金子委員、三品委員 オブザーバー～宮澤委員長、石垣副委員長 社会教育課～星課長、根子補佐 ふるさと館JRY～田中館長、中島副館長
欠席者名	安瀬委員
傍聴人の数	なし
会議の内容	(1) 第2次社会教育中期計画第3専門部会 芸術文化・博物館文化財・文化施設分野の現状と課題について (2) その他
会議資料	会議議案
会議録	■ 有 （ <input type="checkbox"/> 全文筆記      ■ 要点筆記 ） <input type="checkbox"/> 無
備考	

## 結果要旨

### 【文化財保護活動・博物館活動の現状と課題】について

文化財では、天然記念物として昭和 32 年佐呂間湖畔鶴沼のアッケシソウ群落、埋蔵文化財では昭和 42 年シブノツナイ 堅穴住居群がそれぞれ北海道の文化財に指定され、現在に至るまで大切に保護されてきました。埋蔵文化財は他に北海道を代表する湧別市川遺跡、川西オホーツク遺跡をはじめ所在が確認されている包蔵地は 56 か所もあります。

博物館活動は、郷土館において地域の特徴である考古資料を中心に湧別地区のあゆみを展示しています。郷土館ボランティアが教育普及活動に協力しています。上湧別地区には一世紀に渡って継承されてきた湧別屯田の資料等の開拓の記録があり、ふるさと館 J R Y でそれらは保存展示され、明治開拓期の「衣食住」の体験などの教育普及活動が行われてきました。

文化財保護活動・博物館活動の基本は文化財と資料の保存にあります。これらを将来へと確実に継承する保護計画を立案実行することが最大の課題と考えます。

埋蔵文化財はこれまでと同様に開発行為による破壊を防いでいかなければなりません。そして、保護だけではなく分析調査をし、教育普及活動へつなげていくことも求められます。特にシブノツナイ 堅穴住居群は道教委による再調査が 3 カ年行われ、今後も調査分析の継続が町に求められています。

博物館・収蔵庫にある資料はこれから情勢の変化とは関係なく安定的に保存されていく環境を構築しなければなりません。

保護に加えて、文化財、博物館資料を町民に広く知ってもらい、その存在意義を考えてもらう機会を提供していくことも重要な役割です。そのための方策を考えることも重要な課題です。

#### 〈今後の課題〉

##### ・文化財保護活動

- 埋蔵文化財保護のため所在地の明確化と土木工事等による破壊を防ぐ必要があります。
- シブノツナイ 堅穴住居群等の包蔵地の調査が必要であります。
- 発掘資料の整理・分析が必要であります。
- 天然記念物保護の適正な各種事務手続きを努めます。

##### ・博物館活動

- 新しい収蔵庫の建設の必要があります。
- 資料の安定的な保存環境を構築する必要があります。
- とくに次世代を担う子供たちへの博物館利用機会を増やす必要があります。
- 文化財・博物館資料の重要性、存在意義を知る機会を提供する必要があります。

→前回会議で意見をいただいた、課題の「新しい町としての博物館の運営方針を決める必要があります」について、「文化財・博物館資料の重要性、存在意義を知る機会を提供する必要があります。」

と整理したいと思います。また、道の埋蔵文化財担当者との情報交換から、「竪穴住居群跡」を「竪穴住居群」に、「北海道を代表する湧別市川遺跡」の後に「川西オホーツク遺跡」を挿入したいと思います。以上3点変更したいと思います。

全員：承認

## 【芸術・文化活動と文化施設整備の現状と課題】について

芸術・文化は、人間が人間らしく生きるためのものであり、ともに心豊かに生きる社会を目指して、活気と個性あふれるまちづくりを構築するうえでも大きな役割を果たすものです。また、町民の文化活動に対する芸術性や専門性は年々高まりを見せており、文化連盟や関係機関と連携を図りながら、町民のニーズに応える施策を展開し、心の糧となる芸術・文化活動の充実が望まれます。

幼児や小・中学生を対象とした芸術鑑賞会については、一定の評価を得た作品を継続的に実施しました。これからの時代は、益々創造的な産業の成長が見込まれることから、創造的な人材の育成のためにも、青少年が芸術文化に触れる機会の充実が求められています。また、一般向けの芸術鑑賞会開催に加え、町民が主体的に芸術鑑賞の企画運営に取り組める「芸術文化奨励事業」を実施し、幅広いニーズに応える体制を継続してきました。しかし、一般向けの主催事業、芸術文化奨励事業ともに、出演者の知名度に観客数が左右される傾向があり、全体として集客力は低迷しています。

また、演奏の技術指導やミュージカル等の体験事業といった育成事業には、その参加者に新たな技術と感動を与えることができました。鑑賞事業ばかりではなく育成事業においても充実を図り、鑑賞と創造が両輪となって、地域の文化を活性化していくための環境作りが求められています。

文化連盟については、両地区の文化協会ごとに総合文化祭等を行なっていますが、今後は相互の交流を図りながら文化連盟の自主的な組織活動・事業が充実することが望まれています。

町の合併により文化センターが2館となり、各々文化活動の拠点として芸術文化団体・サークル等が例会・練習の場として主に使用しています。両文化センターは、建設後20年以上が経過し、経年劣化した設備の更新を進めることはもちろん、ホールの特徴を活かした住み分けも考えていく必要があります。

### <今後の課題>

- 鑑賞と創造が両輪となった芸術文化活動を推進し、町民が感動にふれる機会を提供することが必要です。
- 芸術文化の持つ創造性を活かし、青少年が芸術文化に触れる機会の充実が必要です。
- 鑑賞事業で多くの人に足を運んでもらう工夫・きっかけ作りが必要です。
- 町民のニーズに合ったカルチャー教室を実施し、芸術文化に携わる人の裾野を広げる必要があります。
- 文化連盟を始め、各種文化団体の活動支援が必要です。
- 文化センターの計画的な設備の更新が必要です。
- 文化センターさざ波、TOMそれぞれの特徴を生かした施設活用が必要です。

○前回、積み残しとなった、青少年が芸術文化に触れる機会の充実について協議。

- ・なくなる職業のことなどを考える中で、全国社会教育研究大会の基調講演で、ロケットを打ち上げている植松電機の社長さんのお話を聞いた。バカにする人もいたが、夢を持って自分のやりたいことを続ける、夢は職業と違う。ロボットや人工知能に置き換えられない、人間だけにしかできないことがあると改めて感じた。
- ・文化芸術振興の意義を見返して、「新たな需要や高い付加価値を生み出し、質の高い経済活動を実現する」とあり、盛り込む必要もあるのかと思った。「芸術文化によって心を育む」という言い方が良いと思うが、経済のことまで入れる必要はあるか。

→一般に理解しやすいと考えた一つの理由であり、文面は自由に考えてもらってよいです。案を出してくれたので、それを基に考えてはどうですか。

- ・ロボットや人工知能にとって代わられる職業があり、人間にしかできないことが芸術文化で伸ばせる。「これからの時代は、ロボットや人工知能にはできない、人間だけが作ることができる分野の仕事が必要になります。そのためにも、青少年が芸術文化に触れる機会の充実が求められています。」でどうか。てにをは事務局にお任せします。
- ・思いとしては、社会のための教育ではなく、教育のための社会づくり。
- ・先生の考えでよいと思う。
- ・あまり難しくしない方がよい。案でよい。現状と課題なので、目的やねらいを明文化することにより。
- ・観客が少ないのは、小さい頃から芸術文化に慣れ親しんでないから。身近にある環境づくりが必要。私も毎年3月に町民芝居の舞台をするときに、ギャラリーの写真展を観る。芸術文化を感じられる人間、子どもが増えてほしい。豊かな心を育てたい。

○その他

- ・観客数低迷の現状は、このまま押さえ、方策で考えていくことでよろしいですね。  
川西から出た熊の遺跡を見て考えると、物が残るのはすばらしい。芸術文化。

→保存も大事な仕事です。

- ・今回課題として出してもらった「文化財・博物館資料の重要性、存在意義を知る機会を提供する」ということは、本当に大切だと思う。
- ・推進目標について次回考えるが、他の分野は標語形式で統一されているので、文化と博物館もそれに合わせていきたい。

○次回日程 10月に全体の社会教育委員会議を予定。現状と課題の整理。

19:10 閉会

平成29年度

第2次湧別町社会教育中期計画策定にかかる  
第1回 第3専門部会（芸術文化・博物館文化財・文化施設） 会議

と き 平成29年 9月14日（木）  
午後6時30分～

ところ 文化センターTOM 第3会議室

<会議日程>

1. 開 会

2. 部会長あいさつ

3. 議 題

○第2次社会教育中期計画専門部会

芸術文化・博物館文化財・文化施設分野の現状と課題について

4. その他

○次回日程の確認

5. 部会長あいさつ

6. 閉 会

<第3専門部会構成員>

部会長 深谷 聡

部 員 金子徳郎、三品博恵、安瀬 勇

委員長 宮澤 道 副委員長 石垣誠一

事務局 星 義孝、根子敏男、土佐信太郎

田中 仁、中島一之、林 勇介